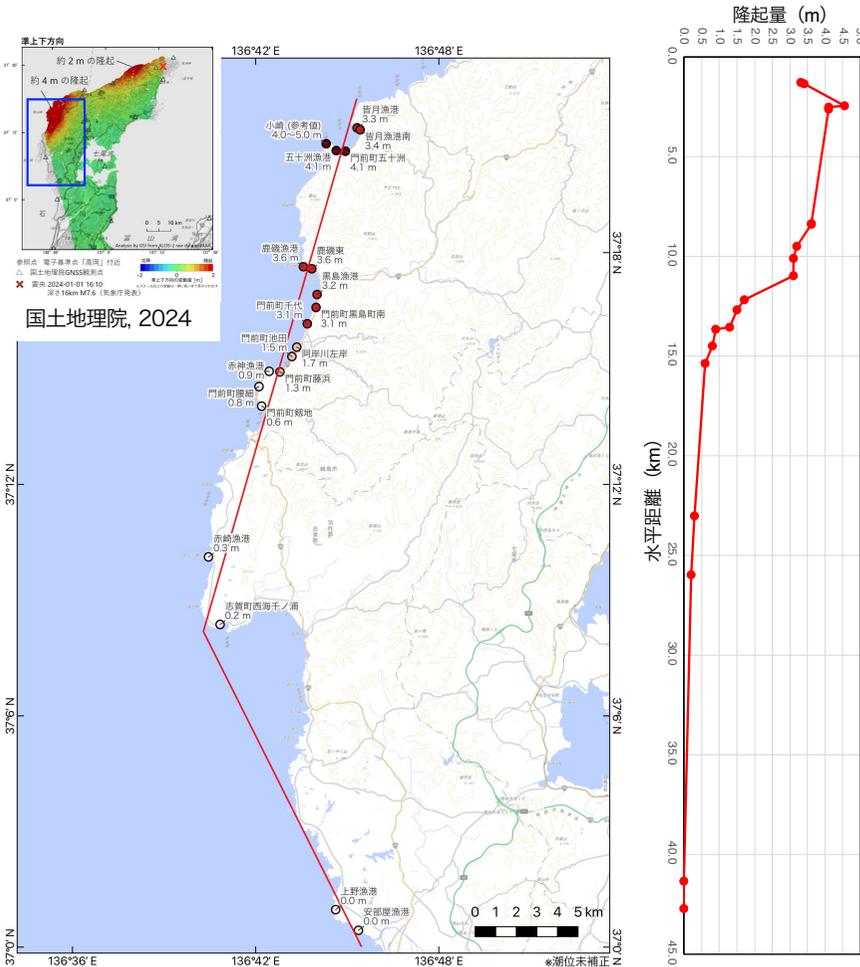


令和6年能登半島地震震源域西部の海岸隆起



能登半島北西岸部沿いの海岸調査による2024年能登半島地震に伴う隆起量分布 (潮位補正前の暫定値、中央値)



輪島市門前町五十洲漁港 (左) および皆月漁港で見られた海岸隆起 (2024年1月4日撮影)

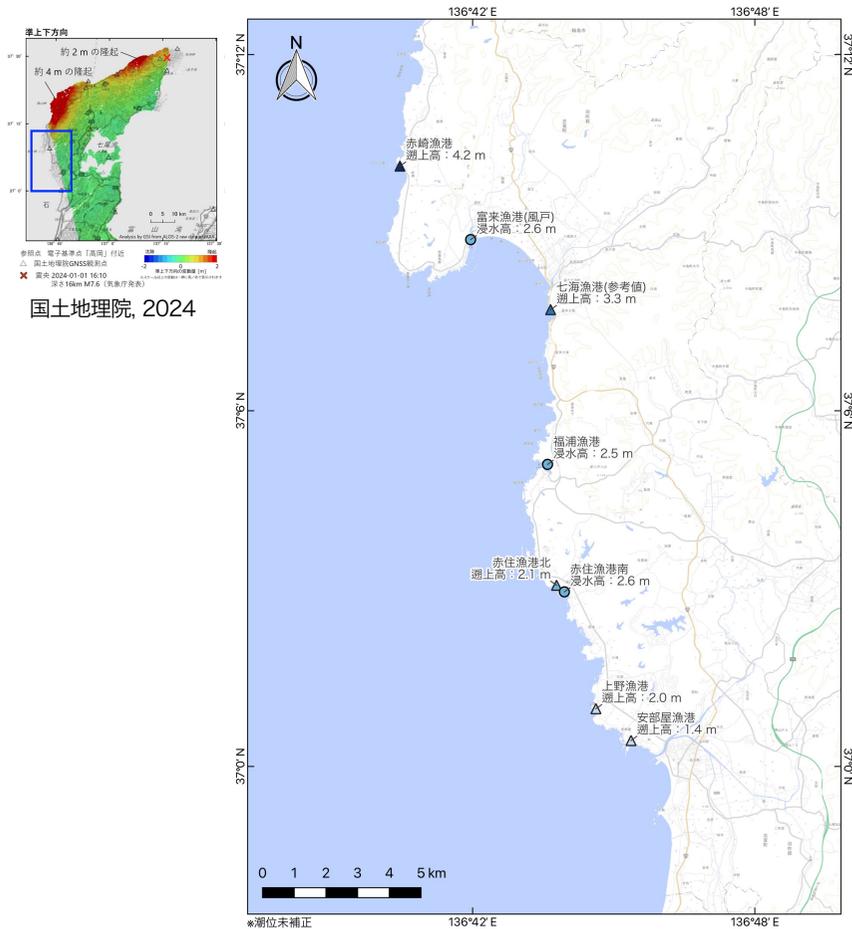


輪島市門前町鹿磯漁港東の地震前 (左: 高島金子さん提供、2016年9月4日13時02分撮影) および地震後 (右: 2024年1月3日11時49分撮影) の写真。

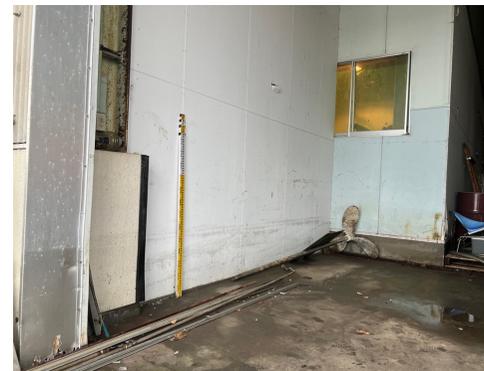
- ・2024年震源域北西部にて海岸地形調査を行い、海岸地形・生物遺骸等の分布高度等から地震時の海岸隆起量を推定
- ・最大約4.1mの隆起量や南に減少する傾向など、測地的解析による隆起量の推定 (国土地理院, 2024) と概ね整合的

東京大学地震研究所・富山大学・信州大学・岡山大学作成

令和6年能登半島地震震源域西部の津波痕跡



(左) 赤崎漁港における津波被害の状況と (右) 倉庫外壁に残された津波痕跡。2024年1月3日撮影。



(左) 富来漁港の倉庫内と (右) 赤住漁港(南)の倉庫外壁に残された津波痕跡。2024年1月5日撮影。

- ・ 2024年震源域北西部にて海岸調査とともに津波痕跡の分布を調査
- ・ 赤崎漁港で約4.2mの遡上高を推定、遡上高・浸水高は南に向かって減少

能登半島北西岸部沿いの海岸調査による2024年能登半島地震に伴う津波痕跡分布 (潮位補正前の暫定値、中央値)